

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋 1-19-11 (N I P P O 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL http://www.doukenroukyou.com

〈第38回定期大会報告〉



2023年7月21日(金)ホテルラングウッドにて道建労協・第38回定期大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに対面型式での開催となりました。2022年度の活動報告・会計報告、2023年度の役員改選、2023年度運動方針・予算案の審議がそれぞれ行われ、全ての議案は原案どおり承認を得て、大会は無事終わりました。

役員選挙において、中央執行委員の後藤陽平氏(NIPPO 労働組合)、豊田将司氏(東京舗装工業社員労働組合)、会計幹事の村田憲洋(大成ロテック社員組合)の3名が退任し、中央執行委員に鈴木宏大氏 (NIPPO 労働組合)、般若一真氏(東京舗装工業社員労働組合)、会計幹事に白崎謙二氏(大成ロテック社員組合)が新たに就任しました。

退任された3名の役員におかれましては、長年の道建労協でのご活動、大変お疲れ様でした。

<2023年度の取り組み>

2023 年7月21日に開催されました第38回定期大会に於いて議長の職を拝命しました山田と申します。 今年度も初心を忘れず微力ではありますが、道建労協加盟の各単組の皆様の「働きがいのある職場の環境 づくりと豊かな生活の実現」に向けて、誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。 さて、2023 年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

コロナ禍の影響が弱まる中で、様々な活動に制限が必要との意識も薄らぐことで、日本経済は緩やかな 回復基調となっています。建設投資についても官民ともにコロナ禍以前の状況を取り戻しています。ただ



し、我々道路建設業界におきましては、原油高騰の影響が依然として強く、様々な資材の価格が上昇傾向のとなっており、多くの加盟組織で 昨年度の会社業績は減益と厳しい状況になりました。さらに、企業も人材確保が課題となっている中で、建設業の遅れている働き方改革は、 これからを担う若者に対して、大きなマイナスイメージとなっています。希望する日に休みが取れる、日々の生活でプライベートの時間が しっかりと確保があたりまえに出来る職場環境とならなければ、人が集まらず建設業に未来はありません。

また、皆さんご存知のとおり、道建労協は週休二日の実現を目指して土曜閉所運動に取り組んでいます。特に11月と6月を土曜閉所推進運動の強調月間と定めています。さらに、建設産労懇の仲間と共に運動名を「完全週休2日実現 統一運動」に統一することで、運動を建設業界だけでなく他業種への浸透を目指しています。6月のアンケート結果については、改善のスピードはゆっくりではありますが、上昇傾向は続いています。

今年度も引き続き「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」を達成し、魅力溢れる道路建設産業が築けるように、役員一丸となり活動していく所存ですので、今後とも道建労協に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【 議長 山田 憲吾 (NIPPO労働組合) 】

境を乗り越えて、酷暑の甲子園で 校3年生は6歳前後で震災の記 校野球らしい熱戦が繰り広げ れました。その中で目を引い か残っている 世代であり ※を受けておりましたが、よう 霾により、 通常通りの活動を取り戻しつ 東日本大震災の発生時 い思いをした高校球児も出場 ことは、夏の甲子園では史上初 たに違いありません。その流 連続で決勝に進出しました 応援が解禁となり、 した姿に心を動かされま ベスト8に東北勢3校が残る 新型コロナウイル 高校球児に負けず 組合活動も多くの制 辛く

|逆境を乗り越えて]

第35回 労使セミナー

2023年1月19日(木)に、アートホテル日暮里ラングウッドにおいて第35回労使セミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりの開催となりました。当日は道建労協加盟単組や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務委員会を中心とした各企業の総務・人事部門の皆様、日合協の皆様をお招きし、講師に精神保健福祉士の北村まり氏をお迎えして「正しく理解する令和時代のハラスメント対策」と題して、講演をしていただきました。

講演内容は、様々なハラスメントのなかで主にパワーハラスメントとセクシャルハラスメントの問題について、定義や判断基準そして事例などを用いてわかりやすくご教授いただきました。近年、ハラスメントを過剰に配慮してしまい、指導が十分にできないなどのケースも増加傾向にある中で、指導とハラスメントの境界線について正しく理解し、判断軸を持ってマネジメントを行うことの重要性について理解を深めることができました。

職場における様々なハラスメントは、働く人が能力を十分に発揮することの妨げになることはもちろん、個人としての尊厳や人格を不当に傷つける等の人権に関わる許されない行為です。また、企業にとっても、職場秩序の乱れや業務への支障が生じさせるなど、貴重な人材の損失につながり、社会的評価にも悪影響を与えかねない大きな問題であることを再認識致しました。道路建設業は人員不足も深刻であり、若年社員の離職率は大きな問題となっております。これからの業界の魅力化を実現するためにも、ハラスメント対策を講じて行くことは企業にとって必要不可欠であり、時代にあった対策に見直していくことの必要性を感じました。





セミナー終了後には懇親会を開催し、組合と会社の立場の垣根を越えて様々な意見交換を行いました。労使双方が現状の問題点を共有し、魅力ある道路建設産業づくりへ向けてベクトルを一つにして進んでいくためにも貴重な機会とすることができました。



ご多忙中にもかかわらず、今回の労使セミナーにご参加頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

道建労協は道路建設産業の労働環境の改善に向けた取り組みとして、また、魅力ある産業になるためにも、活動を活性化してく所存でありますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2023年5月22日(月)~23日(火)に東北地区、5月30日(火)に北陸地区の加盟単組企業と各地区関係団体の訪問を行いました。 2024年4月から時間外労働の上限規制が適用されることもあり、各加盟単組企業及び関係団体においては、従前にも増して、時短・休日 取得に対し真摯に向き合おうという姿勢が感じられました。また、減少する人材の確保や離職防止という観点からも、それぞれの企業が独 自にルールを決めて土曜閉所及び休日取得活動に積極的に取組んでいる印象を受けました。

土曜閉所ならびに休日取得活動を推進していくには、道建労協の加盟単組間において、各単組の取り組みについて情報を共有して、労使が一体となって出来ることから一つずつ改善し、前に進まなければなりません。

各加盟単組が一丸となって土曜閉所活動に取り組み、働きがいのある職場と豊かな生活の実現を目指していきましょう。

大成ロテック社員組合 吉田 岳史

【東北地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2023年5月22日~23日)



【北陸地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2023年5月30日)



2023 年度 道建労協年間スケジュール

第38回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。 活動の経緯、報告については随時ホームページや機関紙などで紹介いたします。

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各種会廳	三役・中執			三役・中執			三役・中執				三役・中執	
大会	単組大会	単組大会	単組大会									定期大会
企業訪問			企業訪問							企業訪問		単組大会
研修会				女性技術者		労使セミナー						単組支援
セミナー				意見交換会		NRC()						セミナー
地協活動	幹事会			幹事会			幹事会			幹事会		地協代表者
			地区交流会							地区交流会		
春闘への取組			年齡構成調查	調査時報			基本方針					
								情報交換	情報交換	情報交換	情報交換	
産労移		運営委員会			総会		運営委員会	情報交換	情報交換	情報交換運営委員会	情報交換運営委員会	
産労 懇		運営委員会 土閉共同プレス			総会 セミナー		運営委員会	情報交換	情報交換			
産労移						107号	運営委員会	情報交換	情報交換	運営委員会		番外編
		土閉共同プレス		土曜開所	セミナー	107号	運営委員会	情報交換	情報交換	運営委員会		番外編
機関紙		土閉共同プレス		土曜閉所	セミナー	107号	運営委員会	情報交換	情報交換	運営委員会	運営委員会	春外編 - 土曜開所
機関紙		土閉共同プレス	厚労者・国交省		セミナー 番外編	107号	運営委員会	情報交換		運営委員会	連督委員会 土曜開所	
機関紙 ポスターアンケート		土閉共同プレス	厚労省・国交省 道義第・日合協	土曜間所	セミナー 番外編	107号	運営委員会	情報交換		運営委員会 土開共同プレス	運営委員会	

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。 本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています! 皆さん、奮ってアクセスして下さい!



http://www.doukenroukyou.com

検索

地協のない地域の交流会(東北・北陸)

【東北地区交流会】

2023年5月22日(月)、仙台ガーデンパレスにおいて東北地区交流会が開催され、各単組と本部合わせて総勢22名の方にご参加いただきました。

初めに山田議長より挨拶、次に尾崎事務局長より 11 月土曜閉所推進運動の展開について説明、続いて各単組の土曜閉所及び時短への取り組みを発表していただきました。

例えばオフィスカーの活用により直行直帰がしやすくなり、時間の大幅削減に繋がったとする一方、電波・通信環境が不安定、紙ベースの書類処理に不向き、対面機会が減るため工程の心配はされても休暇取得の心配はされにくいといった課題がある等具体的な取り組みと成功例や問題点を出し合いました。

よりよい職場環境・働き方をすすめていく上で、各々の事例や意見を共有するこの場が皆様のお力になれれば幸いです。

最後に会議終了後の合同懇親会開催も叶い、活発な意見交換ができましたこと、ご多忙にもかかわらずご出席くださいました皆様のおかげと心よりお礼申し上げます。

大林道路職員組合 白川 和代





【北陸地区交流会】

2023 年 5 月 30 日 (火) ホテルグローバルビューにおいて、「道建労協 北陸地区交流会」が開催されました。冒頭に本部役員より、道建労協の活動である 6 月の完全週休 2 日実現統一運動ついて説明があり、各単組出席者の土曜閉所や時短活動の具体的な取り組みを発表し、情報共有及び意見交換を行いました。

この意見交換では色々な意見がありました。事業計画や業績等の見直しが必要なのではないかという意見もあれば、業界全体の土曜閉所に対する理解が進んできているので、閉所しやすかったという意見もありました。

まだまだ、課題は多くあるものの、われわれの運動により、休日取得率は、年々上昇傾向であり、着実に成果も出てきております。引き続き、この運動を積極的に展開し、労使にて情報を共有し、互いに認識を深め、道路建設産業のみならず、一般社会にも広く浸透させ、完全週休2日を実現させましょう。

前田道路労働組合 尾﨑 浩司





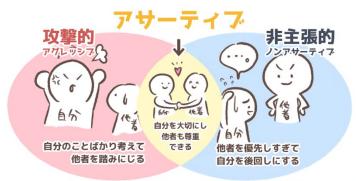
単組支援セミナー

2023年7月21日(金)に、定時総会に引き続きアートホテル日暮里ラングウッドにおいて単組支援セミナーを開催致しました。 講師にソーシャルスキルトレーナーの中岡祐子氏をお迎えして「仕事や人間関係に役立つ自己表現アップ術」と題して、講演をしていただきました。

アサーションとは、相手を尊重しつつ自分の意見を主張するコミュニケーション方法の一つです。アサーティブなコミュニケーションを身に付けることで、伝えにくい事をきちんと相手に伝えることが出来るなど、対等なコミュニケーションを取ることが出来るようになります。自分の意見や要求を伝える際に、つい言葉が強くなってしまう事があります。アサーションを意識することで、相手に不快を感じさせることなく、適切に自分の意見を伝えることが出来るようになります。そのためアサーションは人間関係を円滑にするために有効だと言われています。アサーションは、相手を尊重しつつも自己表現が出来る、ビジネスシーンには必要なコミュニケーション能力です。こうしたコミュニケーション力を身に付け、自分の主張が相手に適切に届くようにしましょう。

大成ロテック社員組合 吉田 岳史





良好な人間関係を築くには、アサーティブが必要!

道建労協からのお知らせ

東亜道路労働組合 と 全大有労働組合 の道建労協への加入について!

道建労協は7つの単組が集まった組織で、組合員数は5,300名を数えていました。

組織の影響力を上げるためには、組織の大きさ、すなわち参加する組織の数と組合員の数を増やすことが条件の一つと考えています。 9月6日に開催された三役会にて、東亜道路労働組合と全大有労働組合の加入について、全会一致で可決されました。

新たな仲間を向かえることで、約6,300名を超える仲間が集まる組織となりました。

高まった影響力を活動の力に変換して、道路建設産業の職場環境の改善だけではなく、

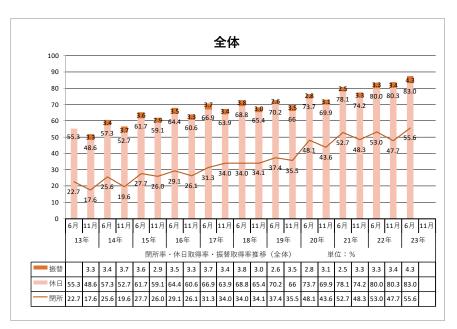
道路建設産業の仕事を様々な人たちへ知ってもらい、興味を持ってもらえるよう活発な活動を展開してまいります。

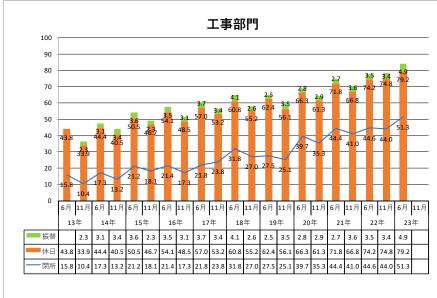


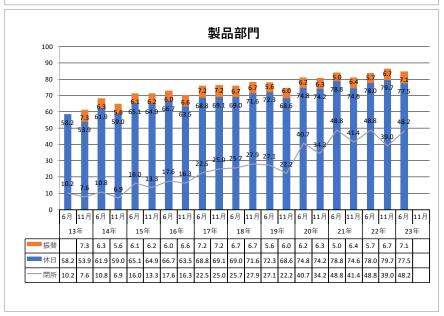


土曜閉所率・休日取得率の推移

※2023 年6月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。







新年度 後員紹介



2023年7月開催の 第38回定期大会で 以下の方々が新役員となりました。



山田 議長 (NIPPO 労働組合)



白川 和代 副議長 (大林道路職員組合)



吉田 岳史 副議長 (大成ロテック社員組合)



尾崎 浩司 事務局長 (前田道路労働組合)



鈴木 宏大 中央執行委員 (NIPPO 労働組合)



安西 崇裕 中央執行委員 (三井住建道路労働組合)



薫 雅弘中央執行委員(フジタ道路職員組合)



般若 一真 中央執行委員 (東京舗装工業社員労働組合)



佐々木 憲大 会計監事 (大林道路職員組合)



白崎 謙二 会計監事 (大成ロテック社員組合)

退任 後員紹介



第38回定期大会をもちまして、以下の方々が退任されました。 今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における 重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。



後藤 陽平 中央執行委員 任期:2022年度~2022年度 (NIPPO労働組合)



豐田 将司中央執行委員任期:2019年度~2022年度(東京舗装工業社員労働組合)



村田 憲洋 会計幹事 任期:2019年度~2022年度 (大成ロテック社員組合)



物知りクイズ

正解者の中から抽選でクオカードをお送りします!

9月に入り、以前として猛暑日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は30度以上の真夏日の最多日数を更新するなど、道路建設産業で働く我々にとっては非常に厳しい気候が続いておりますが、くれぐれも体調には気をつけてお身体をご自愛願います。さて、今年は9月14日に阪神タイガースが、9月20日にオリックス・バファローズがそれぞれセ・パ・リーグでリーグ優勝を果たしました。阪神タイガースは18年ぶりのリーグ優勝ということもあり、久々に世間を明るいニュースで賑わせていただきました。喜ばしい限りです。これからクライマックスシリーズが行われますが、是非、日本シリーズでの関西対決を期待したいものです。

今回の「物知りクイズ」では、日本の「優勝」にまつわるクイズを出題します。

皆様いくつ答えられるでしょうか?

Q1. 阪神タイガースが最後に日本一になったのは西暦何年でしょうか?

①1973年(50年前) ②1985年(38年前) ③1995年(25年前) ④2005年(18年前)

QZ 箱根駅伝で歴代最多14回の優勝を果たしているのは何大学でしょうか?

①駒沢大学 ②早稲田大学 ③中央大学 ④青山学院大学

Q3. 高校野球で歴代最多26回の優勝を果たしている都道府県はどこでしょうか?

 ①大阪府
 ②東京都
 ③神奈川県
 ④愛知県

04. AKB48 シングル選抜総選挙の第1回優勝者は誰でしょうか?

①大島 優子 ②指原 莉乃 ③高橋 みなみ ④前田 敦子

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。 たくさんのご応募をお待ちしております。

- ●解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)
- ●氏名 ●所属単組名
- ●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- ●締め切り 2023年12月29日(金)
- ●宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

FAX 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE105号物知リクイズ当選者

該当なし

們·鎮·徐·龍

PAVE106 号をお読みいただきましてありがとうございます。

秋刀魚の美味しい季節となりました。安くて美味しいと思っていたこの秋刀魚ですが、年々漁獲量が減り、気付けばコスパ的に一昔前と 比べてオイシイとは言えない価格になっていました。

秋刀魚の価格に限らず、私たちを取り巻く環境が猛スピードで著しく変化し続けています。「前はこうだった」「昔はこうしていた」が 通用しなくなっています。

労働環境も然りです。変わっていく時代から変えていく時代になっているのかもしれません。来年2024年には時間外労働時間上限猶予期間終了となり、上限は原則45時間に「変わり」ます。手始めに4週8休に「変えて」みませんか。

大林道路職員組合 白川 和代